

現状と課題を踏まえた方向性の整理



新観光戦略の検討の方向性

[戦略の位置づけ]

兵庫の観光がめざす将来像とその実現に向けた方向性を示し、

県・市町、県民等と共有するための共通指針としての役割

[計画期間]

令和5(2023)年度～令和9(2027)年度の5年間

[めざす将来像のイメージ]

持続可能な観光地域づくりの推進

～全国はじめ世界から訪れる旅行者との感動の共有～

～県民が誇りを持って住み続けたいと願う豊かな地域の実現～

社会経済	<ul style="list-style-type: none">・高付加価値の上質な旅の提供、MICE需要の獲得などにより滞在期間の長期化、消費拡大を図り、雇用創出や所得向上に貢献する観光を推進する。・観光以上移住未滿の関係人口の拡大により、地域社会や経済の持続性に貢献する観光を推進する。
文化	<ul style="list-style-type: none">・文化・伝統の保全と活用の両立を図り、歴史、ストーリーを伝え、旅行者の共感を生み出す本物志向の観光を推進する。
環境	<ul style="list-style-type: none">・環境や気候変動に配慮した資源保全・活用を踏まえた観光を推進する。・平和や安全などの相互理解を促す観光を推進する。
マネジメント	<ul style="list-style-type: none">・県民の参画や協力を通じて、県民と旅行者双方の満足度向上や地域への誇りや愛着の醸成につながる観光を推進する。

[施策の検討にあたっての方向性]

1 産業・文化の蓄積を活かした「HYOGO」ブランドの向上

- ✓ 地域の魅力の発掘と磨き上げ、「HYOGO」観光の付加価値を高める。上質な旅の提供を通じて、国内外の旅行者の滞在期間の長期化、消費拡大や満足度向上につなげる。
- ✓ 地域に根ざした「食」を活用し、その背景にある「ルーツ」、それらを生み出す「人」にも着目し、技術や伝統などを伝える「テロワール旅」など、兵庫の産業・文化の蓄積を活かした本物志向の体験コンテンツの開発、旅行商品の造成を進める。
- ✓ 地域資源の背景や価値の理解促進を促すアプリやウェブの活用、移動データによる観光地の状況把握など、デジタル技術を活用した観光体験をより豊かにする取組みを推進する。

2 圏域としての訴求力・集客力の向上

- ✓ 関西、日本海、瀬戸内の近隣府県との交流と連携による広域観光圏を形成し、国内外に向けた「HYOGO」の観光ブランドの訴求力（プレゼンス）、集客力を高める。
- ✓ 観光市場の成長センターとなる潜在力を秘めた関西において、インバウンド再開を見据え、海上交通観光の開発などにより、観光客やアフターMICEのビジネス客の取込みを図る。
- ✓ 旅行者の利便性と回遊性を高める観光型MaaSやマイクロ(グリーン)モビリティなど、ストレスフリーの交通アクセスを整備する。

3 地域の経済循環を支える観光の振興

- ✓ 地域に引き継がれた自然環境、歴史・文化、産業等の資源を活用した環境配慮型の観光の取組みから得られる経済・社会的利益が地域に還元され、それらの持続可能性や価値をさらに高める仕組みを、多様なステークホルダーと連携し、観光地域づくりにビルトインする。
- ✓ 大学生や高校生など将来の観光を支える人材の育成や、観光以上移住未満の関係人口の拡大を通じて、観光地域づくりを担う人材や観光産業で活躍する人材を確保する。
- ✓ 多言語対応や多様な文化・習慣に対応できる受入環境整備とともに、高齢者・障害者はじめ、あらゆる旅行者が快適に旅行・滞在できる取組みを推進する。
- ✓ 県域DMO（ひょうご観光本部）の機能強化のため、データ分析をベースとするPDCAサイクルの推進、マーケットインのアプローチを可能とする組織・業務プロセスの改革、自走化を可能とする財源の多様化などを推進する。